

# もっと! みはらトピックス



▲商品を丁寧に陳列する生徒



## 農家目指す中学生 直売所での仕事に挑戦

JA産直市やっさふれあい市場本郷店は9月10日、三原市立本郷中学校2年生の職場体験を受け入

れました。同校の田村圭さんは将来農家を目指しており、農業に関わる仕事について学びたいと同産直市での職場体験を希望。生産者が出荷したイチジクやブドウ、ナスなどの青果物への値札張りや商品の陳列を行ない、レジ打ちにも挑戦しました。

田村さんは、「陳列作業や接客などを通して利用者のことを考えて行動する販売員としての色々な業務を学んだ」と話しました。

同店の永森昌宏店長は「体験を通じて農業に興味を持ち、将来に役立ててくれると嬉しい」と話しました。

## 深町特産「西条柿」 焼酎渋抜きで風味豊かに

深町落葉果樹生産組合は10月2日、三原市深町特産の「西条柿」を初出荷しました。高温少雨の影響で小玉傾向ですが、高糖度の仕上がりが。出荷当日は心待ちにしていた多くのお客様が買い求めました。

深町の「西条柿」は渋柿で、縦型の形や表面にある4本の溝、渋抜き後の強い甘みなどが特徴です。昔ながらの焼酎による渋抜きで、甘みを引き出し、滑らかな舌触りと風味豊かな味わい



▲「西条柿」を1つつ丁寧に選果する為清会長

に仕上げます。同組合の為清隆美会長は「天候により甘く仕上がっている。是非一度深町特産の西条柿を食べてもらいたい」と話しました。



## イチジク「蓬菜柿」 出荷順調

三原市本郷町本谷地区で9月上旬、(農)ほんたにがイチジク「蓬菜柿」の出荷を始めました。

少雨でしたが、水管理の徹底により平年より大粒の仕上がりが。JA産直市やっさふれあい市場三原店・本郷店を中心に、10月下旬まで約2tを出荷しました。

同法人は本格的に出荷を始めて10年目。圃場8力所50aで栽培しています。同地区は標高230mに位置し、昼夜の寒暖差により着色と糖度上昇が期待されるため、栽培に適しています。



▲(農)ほんたにのみなさん

生産者たちは早朝から収穫作業を始め、着色や果頂部の開き具合などを確認しながら一つ一つ丁寧に選別し、バックに詰めてその日のうちに出荷します。



## 広島わけぎ出荷会議 開催



▲挨拶をする余頃部会長

JAひろしま三原地域とJA尾道市の両わけぎ部会は9月24日、三原市で出荷会議を開きました。生産者や市場関係者、JA役員など約50人が出席。前年度の実績や産地の概況、今後の販売方針について協議しました。

今年度は両JAで総出荷量275tを計画。生産対策として初秋の高温に対応して作付け時期を見直し、最需要期のひな祭りに向け肥培管理を徹底する事や、販売対策として出荷計画の精度を向上させ、販売先のニーズに 대응する事などを申し合わせました。

JAひろしま三原わけぎ部会の余頃悦男部会長は「気候変動により栽培困難な状況が続いているが、安定的な計画出荷に取り組み、生産量拡大を目指したい」と力を込めました。



# 水稲

## 土づくり

土づくりは、作業労力が大きく、費用対効果が分かりにくいことから避けられがちですが、異常気象に備え、安定して収量を確保するために、とても重要になります。土づくり肥料や堆肥を施用し、計画的な土づくりに取り組みましょう。

特に、次のような症状が出ている圃場では、地力が低下している可能性があるため、注意が必要です。

- 湛水時にガス湧きが多くなった
- 途中で肥料が切れてしまう
- 倒伏が多い
- 収量・品質が落ちた

まずは、収量が低い圃場から優先的に取り組み、効果を体感してみよう。

**土づくり肥料**  
土づくり肥料は、健全な水稲をつくるために必要な微量要素で構成されており、酸性土壌を中和するアルカリ性資材となっており、中性に近づけることで稲わらの腐熟を促進させる効果も期待されます。

また、酵素資材(アグリ革命など)と併用すると相乗効果が期待できます。

## 特に不足する微量要素

### ○ケイ酸

茎葉が硬く丈夫になり直立する事で、倒伏を軽減するだけでなく、下葉まで光が届き、株全体の光合成量が増えます。また、蒸散量も増えるので葉温の冷却効果も期待できます。

水稲は、毎年10a当たり100kg以上のケイ酸を吸収します。稲わら・河川等からも補給されますが、毎年20~40kg不足するので土づくり肥料で補いましょう。

### ○鉄分

土壌の有害ガスや酸素欠乏による障害から根を守ります。生育停滞や秋落ち田の改善効果があります。

稲わらが腐熟する際に減少していきます。毎年10~30kg補給しましょう。

# 落葉果樹

先月に引き続き、落葉期に入っています。先月号の表1を参考に、落葉の状況を確認し樹体の状態を把握し今後の管理に役立ててください。

## 肥培管理(土づくり・元肥の施用)

先月に引き続き、土づくりを行ない根が活動しやすい環境を整えます。近年集中豪雨などの大雨で、表層の土壌が流れることがあります。そのような圃場では3~5cm程度の厚さに客土し、根の露出による樹勢低下を防ぐとともに表層の細根の発生を促します。ただし、客土が厚くなりすぎると通気性が悪くなる恐れがありますので注意してください。また、元肥の施用がまだの方は先月号を参考に早急に実施しましょう。



▲来年度の生産に向け土づくりをしっかりと進めていきましょう。

## 園内清掃

収穫が終了し落葉後、園内に残っている落葉や枯れ枝、果実(残果)等は来期の病害の発生に影響します(表1)。そのため、園内を清掃しきれいにしておくことが重要です。

## 苗木の植え付け準備

落葉果樹の苗木(イチジクを除く)を注文された方は、来月上中旬頃に苗木が配布されるため植穴の準備が必要です。植え付け予定の場所に、植穴を準備してください。植穴の幅を1m程度、深さは20~30cm程度を目安に掘り上げます。1穴あたり完熟堆肥を15kg程度、マリンカルや苦土石灰など石灰質資材を3kg程度、ヨウリン2kg程度を土と混ぜて植え付けの準備をしておきます。

表1 残果や落葉から翌年発生する病害の種類

品目	病害
ブドウ	べと病・晩腐病
イチジク	そうか病
カキ	落葉病・炭そ病
モモ	灰星病・黒星病
キウイフルーツ	果実軟腐症

# 柑橘

気がつけば日脚が短くなり冬の訪れを感じる頃なのですが、近年は汗をかきながら早生みかんの収穫をするのが当たり前のようになりました。11月の旧暦・和風月名は「霜月」。文字通り霜が降る月という意の「霜降月」の略で「霜月」となったそうです。霜が降ると果皮がやわらかい温州み

水稲に関する情報をお届けします!

LINE

メール配信サービス

# 家庭菜園

11月になると日中は暖かい日もありますが、朝晩の気温が下がりがりだんと寒くなります。日中との気温の変化も大きくなる時期なので、体調管理に気を付けて作業を行ないましょう。

## たまねぎの栽培

11月に入るとたまねぎの定植が本格化します。たまねぎは晩秋に定植をして初夏に収穫するのが一般的です。早植えることで収穫が早まったり大きく肥大することはなく、冬を越すまでに大きくなりすぎてとう立ち(抽苔)したり球割れ(分球)するなどのいるるな影響が出ます。各品種に合った定植時期などをしっかりと確認しておきましょう。

たまねぎは冬に入るまでにしっかりと根を張らせ、春になってから勢いよく育つようにすることが重要になります。基肥にリン酸成分(ようりん等)を多めに施肥し根張りをよくすることがポイントです。



かんやはるみなどでひどい果皮障害が発生します。少し先の話になるかもしれませんが注意していきましょう。今年の立冬は、11月7日から11月21日です。「冬が立つ」と書くように、冬の兆しが見え始め、空気がぐつと冷たくなり、冬の気配を感じる時期です。衣類や寝具や暖房器具もそろそろ準備しておきたいですね。このころ柑橘の収穫作業も繁忙期に入っていきます。基準に達した果実は果皮障害発生前に速やかに収穫しましょう。基本的なことになります。が果実の軸長は要注意!忙しいあまりについついやってしまうこともあるかもしれません。が正しく採取しましょう。

季節の変わり目、くれぐれもご自愛ください。



定植は株間と条間をそれぞれ15cm程度で、2~3cmの深さに植え付けます。定植時には葉の分岐点より上に土がかからないように注意しましょう。

ダコニール 1000	プロポーズ 顆粒水和剤	シグナムWDG
RACコード M5	RACコード M5/40	RACコード 11/7

たまねぎ栽培中の主な病気として「べと病」があります。気温が15℃程度で雨や曇りの日が多いと発生しやすい病気です。冬の時期は苗の地下部は伸長していますが、地上部の生育は停滞しているようにみえます。発病していないので防除の必要はないと思いますが、病気の初期感染期から潜伏期になります。苗が活着した頃(12月)や、1月中旬には症状がなくても「初期防除」(JAひろしま10月号参照)を行ないましょう。

▶ Information お知らせ

# せとだふれあい祭り

尾道市瀬戸田町で9月20・21日、「せとだふれあい祭り」を開催しました。会場では、瀬戸田町産の柑橘を使用した加工品や新鮮な青果物、農業用資材などを販売！輪投げやボールすくいなどのゲームコーナーや、キッチンカーの出店など数々の企画を準備し、多くの来場者で賑わいました♪



▲柑橘加工品「はちみつはっさく」と「はちみつオレンジ」のマーマレードを使用したサイダー



レモン果実を丸ごと使用した粉末ドリンク「ふるさとレモン」が人気でした♪



▲柑橘加工品の販売



▲農業用資材の展示販売



梨やブドウ、キャベツなど新鮮な青果物を販売しました！

## かがやき通信 女性部活動

### 9/17 【小泉支部】料理講習会

米こうじや漬物の素などを取り扱う厚生産業の講師をお招きし、料理講習会を開きました。参加者は実際にナスやキュウリを漬け、商品の活用方法を実習。ぬか床やしょうゆ麹についても勉強し、知識を身に付けました。



## もっと! みはらニュース!

### 10/5 やっさふれあい市場本郷店 産直の日・新米フェア

令和6年産の新米「コシヒカリ」を特別価格で販売し、多くの方にお買い求めいただきました。来店者には、女性部と協力して釜炊きの新米おにぎりや唐揚げなどを振る舞い、喜んでいただきました♪



## 12月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 **せとだ** 竹原

【営業時間】

8:30~17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00~16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
三原							三原							三原					年金相談会	三原	三原						三原	棚卸	三原	
三原西							三原西							三原西					年金相談会	三原西	三原西						三原西	棚卸	三原西	
本郷							本郷							本郷					年金相談会	久井	本郷						本郷	棚卸	本郷	
久井							久井							久井					年金相談会	せとだ	久井						久井	棚卸	久井	
鷺浦							鷺浦							鷺浦					年金相談会	竹原	鷺浦						鷺浦	※1	鷺浦	
せとだ							せとだ							せとだ					年金相談会	せとだ	せとだ						せとだ	棚卸	せとだ	
竹原							竹原							竹原					年金相談会	竹原	竹原						竹原	棚卸	竹原	

※1 【鷺浦アグリセンター】 正月商品の予約販売のため、営業時間を12時までとさせていただきます。